

ポリエチレンスリーブ施工に関する特記仕様書

平成 20 年 2 月 22 日

令和 2 年 10 月 19 日 改正

請負人は、ポリエチレンスリーブの施工に当っては、次頁の施工方法によるほか次によらなければならない。

なお、これらによりがたい場合は、監督員と協議し指示を得ること。

- 1 仮設管には、ポリエチレンスリーブを施工しない。
なお、仮設管にポリエチレンスリーブを施工する場合は別途監督員が指示する。
- 2 請負人がポリエチレンスリーブを調達する場合は、仕様等を必ず確認すること。
- 3 その他の仕様は、水道工事標準仕様書による。
- 4 工業用水道工事に用いるポリエチレンスリーブは文字のない無地のものとする。
- 5 防護コンクリートを打設する部分については、ポリエチレンスリーブを装着しない。ただし、不断水割丁字部については、防護コンクリート箇所も含めて全体に装着すること。この時、ポリエチレンスリーブ末端の防護コンクリートとの境目については、管が直接土壌と接触するのを防止するため、図 1、図 2 に示すようにポリエチレンスリーブの端をコンクリートの中に入れるように施工すること。

図 1 管端部でのコンクリート防護例

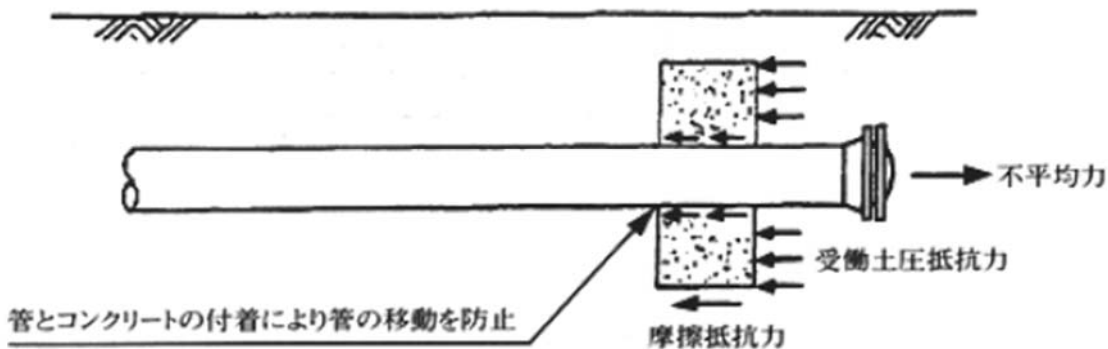
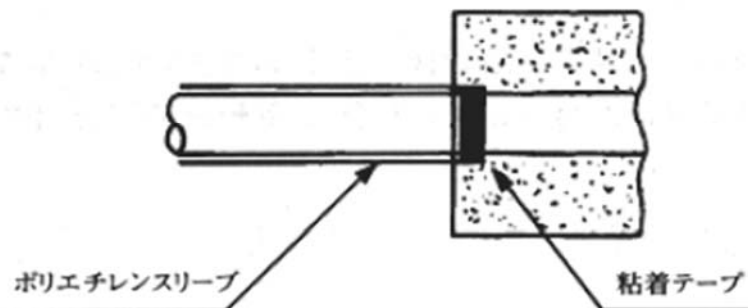
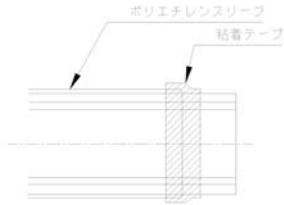


図 2 ポリエチレンスリーブの末端処理



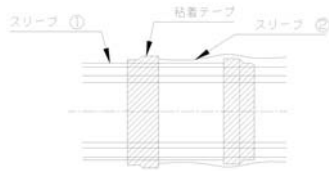
ポリエチレンスリーブ施工方法図(1)

図-1 スリーブと管の固定方法



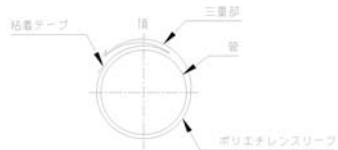
粘着テープの半面がスリーブに、残り半面が管に接着するように固定する。

図-2 スリーブ同士の固定方法



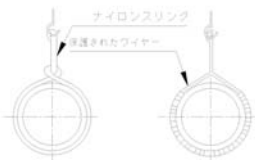
スリーブ①とスリーブ②を固定する場合、粘着テープの半面ずつが①②に接着するように固定する。

図-3 直部での固定方法



頂部に三重部がくるように

図-4 吊り具の使用例



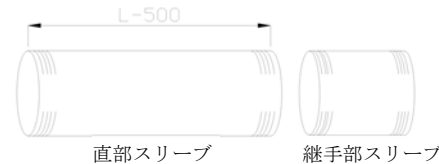
十分に管理されたナイロンスリング、またはゴムなどにて保護されたワイヤーロープを使用する。
(管と吊り具の間で滑りやすいので十分注意を払うこと)

ポリエチレンスリーブの施工図

1枚のスリーブを切断して、直部および継手部に分けて防食する方法

(1) 直部の施工

- ① あらかじめ1枚のスリーブを $L(\text{有効長})-500$ に切断し、これを直部スリーブとし、残りを継手部スリーブとする。



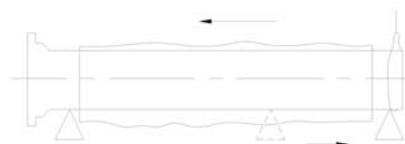
- ② さし口部を吊り上げて、台を管の中央部まで移動させる。



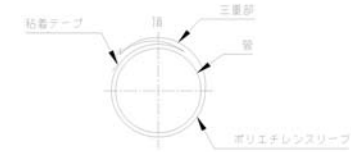
- ③ あらかじめ管長より短かく切断しておいた直部スリーブをさし口側から管に被せる。



- ④ さし口部を吊り上げ、中央部の台をさし口側に戻し、ポリエチレンスリーブを直部全体に広げる。



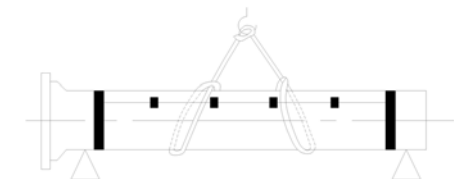
- ⑤ 粘着テープを用いて(約 1m ピッチ)管頂部に三重部がくるようにスリーブを固定する。



- ⑥ スリーブの受口部、さし口部を粘着テープを用い、平面はスリーブに、残り半面は管に粘着させて固定する。(粘着テープは1/4以上巻く。)



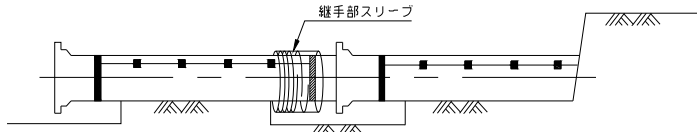
- ⑦ ナイロンスリングなどでスリーブに傷をつけない方法で管を吊り下ろす。



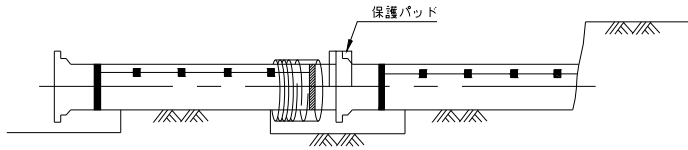
ポリエチレンスリーブ施工方法図(2)

⑧ 管を接合する。

事前に継手部スリーブ(1枚のスリーブから直部スリーブを切断した残り)をさし口側に準



⑨ 継手の上半分に保護パッド(別のスリーブを折りたたんで四重のスリーブ)を粘着テープにて固定する。



⑩ さし口側の継手部スリーブを継手部に移動させて粘着テープで固定する。

この場合、継手部スリーブを十分にたるませて両端で粘着テープが半面は継手部スリーブ、残り半面は直部スリーブに接着するように固定する。(粘着テープは1/4以上巻く。)

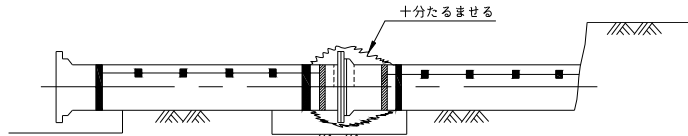
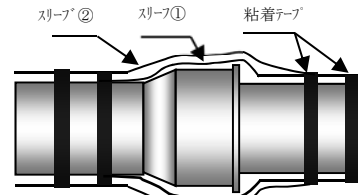


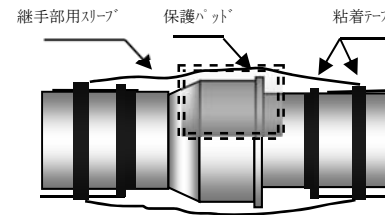
図-5 継手部分のポリエチレンスリーブの状況

(A法)



スリーブ①とスリーブ②を重ねる。

(B法)

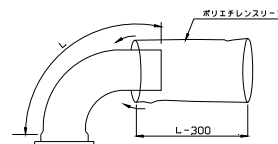


継手部用スリーブと保護パッドを使用する。

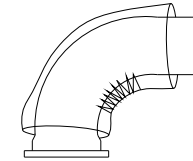
(2) 異型管類の施工

曲り管の施工

① 規定のポリエチレンスリーブを曲り管のL寸法より約300mm短く切断し、曲り管のさし口側から挿入する。

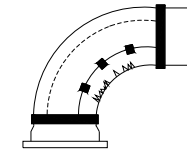


② 挿入されたポリエチレンスリーブを受口からさし口まで広げ、形を整える。

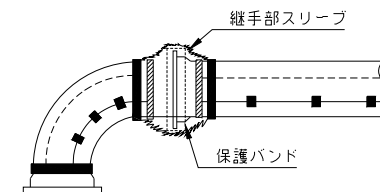


③ 直管の施工と同様の方法でポリエチレンスリーブを管に固定する。

すなわち、粘着テープを用いて(約0.5mピッチ)管頂部に三重部がくるように固定し、受口、さし口部を半面はスリーブに、残り半面は曲り管に接着させて固定する。(粘着テープは1/4以上巻く。)



④ 以後、直管の施工と同様に曲り管を据付け接合後、継手部スリーブを用いて継手部の防食を行う。

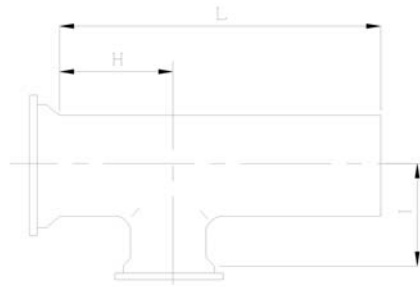


ポリエチレンスリーブ施工方法図(3)

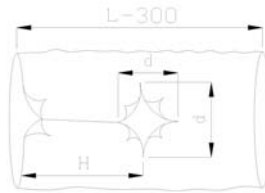
T字管の施工

- ① T字巻の各寸法に合わせてポリエチレンスリーブを切断する。

T字管の寸法例



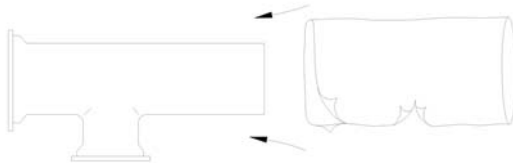
呼び径D用ポリエチレンスリーブをT字管のL寸法より約300mm短く切断し、さらに枝管部分を容易に被覆できるように切目を入れておく。



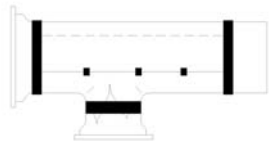
呼び径d用ポリエチレンスリーブをT字管のI寸法に切断し、枝部分を容易に被覆できるように切目を入れておく。



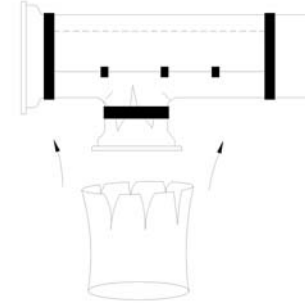
- ② 呼び径D用ポリエチレンスリーブを挿入し、広げる。



- ③ 呼び径D用ポリエチレンスリーブを直管の施工と同様の方法で管に固定する。



- ④ 呼び径d用ポリエチレンスリーブを枝管部分から挿入し、形を整える。



- ⑤ 呼び径d用ポリエチレンスリーブを直管の施工と同様の方法で、粘着テープを用いて管に固定する。

ただし、呼び径D用スリーブと呼び径d用スリーブの固定は粘着テープを用いシールを行う。

以後、直管の施工と同様にT字管を据付け接合後、継手部スリーブを用いて継手部分の防食を行う。

